

小説家先生の

長かつた恋

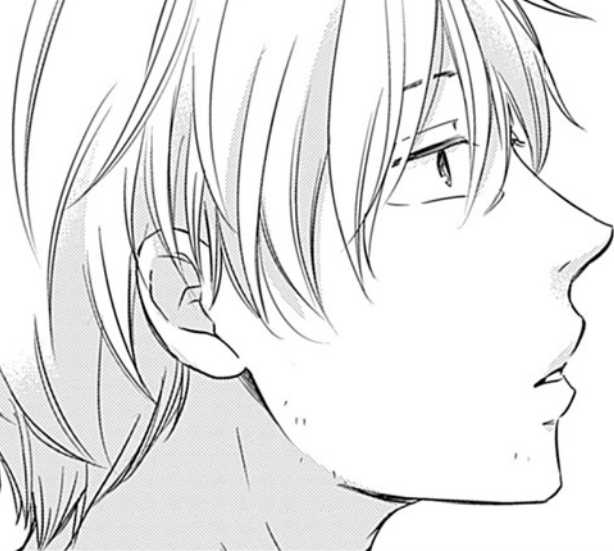
第3話

むろ文子

Muro Ayako

元・教師の小説家と、  
元・教え子の家政夫の  
不器用な恋の物語。





自分じぶんは一応いちおう  
小説家しょうせつかをしている





11時!?

いまなん…



寝るの  
忘れちゃった!



どつてどつて  
どつては  
書けないんだろ…



手紙…もとい  
告白の返事は



たよ  
多少の焦りは  
ある

仕事とは違い  
ずっと話まり  
続けている



彼が「待っている」と  
言っているから

もう三か月近く  
経っていた

お

おは

よう  
ございませ

びゅっ

ナホ!

ナホ!

季節はすっかり  
真冬だ

おはようございます

でも  
もつたない!  
三郎くん、  
ニヤニヤして

眠たくなって  
きた...